



新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 258

R5. 8月号

小学生・朝の図書館タイム

日時：8月1日(火) 2日(水) 3日(木)

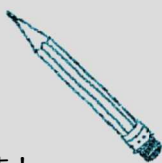
午前9時～10時まで

対象：小学生と保護者



調べ物や本探しをお手伝いします！

朝の涼しい時間、図書館に来てみませんか？



大森山動物園・新屋図書館コラボ企画



第3弾

POPで楽しむ動物の本展

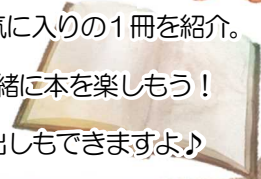
期間：8月29日(火)～9月18日(月)

場所：新屋図書館 エントランス

大森山動物園の飼育員がお気に入りの1冊を紹介。

飼育員手作りPOPと一緒に本を楽しもう！

展示している本は貸し出しもできますよ♪



パステル和アートを描こう！

日時：8月20日(日)

午前10時30分～11時30分まで

講師：高橋 みどり氏 (パステル和アートインストラクター)

場所：新屋図書館 研修室

参加費：1人500円

定員：先着20名

申込み：令和5年8月5日(土) 午前10時から

新屋図書館カウンターまたは電話(828-4215)で受付。



8月のおはなし会

8月5日(土) 14:00～14:30

おぼけかな？

～絵本・紙芝居～

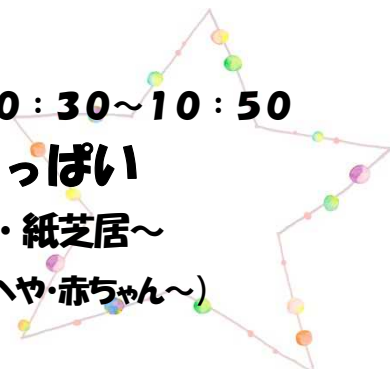
(おはなしのへや・幼児～小学生)

8月8日(火) 10:30～10:50

夏いっぱい

～絵本・紙芝居～

(おはなしのへや・赤ちゃん～)



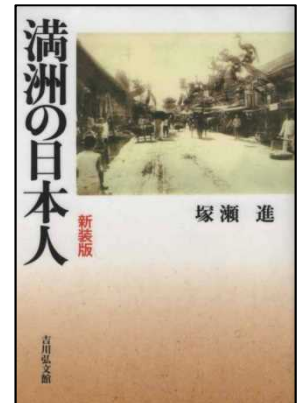
新刊案内

満洲の日本人 新装版

塚瀬 進／著

吉川弘文館 請求記号 222.5 (中国東北部の歴史)

終戦時には、約150万人もの日本人が暮らしていた満州。南満州鉄道の社員、一獲千金を夢見る商人など、さまざまな日本人がその地に渡りました。彼らが風土・習慣・言語の異なる地でどのように暮らしていたのかを、「満州史」の視点から浮かび上がらせます。



歩く江戸の旅人たち スポーツ史からみた「お伊勢参り」

谷釜 尋徳／著

晃洋書房 請求記号 384.37タ1 (風習)

江戸時代に大流行した「お伊勢参り」。東北地方から伊勢神宮へ旅した庶民の日記から、旅のルートや歩行距離、旅人の装いや当時の街道の様子などを検証します。歩くしか移動手段がなかった時代に、庶民に愛された「お伊勢参り」とはどのような旅だったのでしょうか。



最期まで家で笑って生きたいあなたへ なんとめでたいご臨終2

小笠原 文雄／著

小学館 請求記号 498 (在宅医療)

「幸せな最期」を迎えるために在宅ホスピス緩和ケアを選択した患者と家族のエピソードを多数収録。家に戻り笑顔が増えたことで、中には奇跡的な回復をする人も。お金の仕組みや必要な準備についての具体的な紹介もあり、在宅医療を選択するきっかけにもなりそうです。



さっぱりざむらい

よしむら あきこ／作

教育画劇 請求記号 Eヨ (絵本)

カイくんはお風呂もシャンプーもとっても苦手。ある日お風呂に入らずにいたら、頭も体もかゆくなってきました。すると、突然小さな侍が現れ、頭や体の正しい洗い方を教えてくれたのです！そのおかげで、シャンプーハットも卒業したカイくん。さっぱりピカピカで過ごせそうです！



図書館員（長井 友希）のおすすめ本

書名	やりなおし世界文学
著者名	津村 記久子
出版社	新潮社
所蔵	明德
	請求記号 904 (海外文学)



海外文学はカタカナ表記が多くて読みにくい、時代背景がわからない…という理由で嫌煙している人もいるかもしれません。実は本書の著者も海外文学初心者。タイトル名は知っているけれど内容がわからないものを読み、初心者目線で気になった部分を紹介します。あらすじに終始せず、くだけた表現で著者の感想を織り交ぜているのが特徴的です。収録された作品は

92作。「郵便配達はベルを鳴らす」はヤンキーあるある、「ペスト」は登場人物が生き残れるか心配で食事が面倒になったなど、読み手の好奇心を刺激します。中でもぼっちあるあるの「トニオ・クレーゲル」が非常に気になったので、いつか手に取ってみたいです。

今からでも遅くはありません！海外文学の世界にどっぷり浸かってみてはどうでしょうか？

図書館員（石井 美海）のおすすめ本

書名	だいじょうぶだいじょうぶ
著者名	いとう ひろし/作・絵
出版社	講談社
所蔵	新屋、土崎、イソップ、雄和、河辺
	請求記号 Eイ (絵本)



ぼくとおじいちゃんの物語。
おじいちゃんとの時間のなかで少しずつ成長していく姿が描かれています。ぼくとおじいちゃんは、お散歩をするのが大好きです。ときには楽しい出会いや、出来事もあるのですが、困ったことや怖いことも起きてしまいます。しかし、そのたびにおじいちゃんが、「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」とおまじないのように

つぶやき、手を握り助けてくれるのでした。

やがてぼくは成長し、色んな事が出来るように…。最後のシーンにも注目です！

私も幼い頃から祖父と一緒に過ごしていてこのお話と重なる部分があり、その頃を思い出します。読み終わったあとには、心が温かくなる、大人の方にもおすすめの一冊です。

記事になったお酒の話題あれこれ…個性豊かなどぶろく…

2003年に構造改革特区制度が制定され、どぶろくが農家や民宿などで少量に限り製造、提供、販売ができるようになりました。2023年1月現在で全国に183の特区があり、様々などぶろくの新規参入によって、個性豊かな口当たり、酸味、発泡感を味わうことができます。

料理家の平野由希子さんによると「炭酸を含んだ飲み口がスパイシーな料理に合う。また低アルコールのため和食のつまみや魚料理にも合わせやすい。」とのこと。楽しみ方はいろいろありそうです。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

読売新聞

2023年6月19日

今、あなたへ…今年のお盆の過ごし方…

今年の夏は、お祭りや花火大会が通常開催されるところが多いようです。その中でも、昨年ユネスコ無形文化遺産に登録された西馬音内の盆踊りは特に注目されています。『西馬音内盆踊りわがこころの原風景』（小坂太郎／著、影書房）では、踊り・囃子・うた・衣装などについて解説されており、観覧予定の方におすすめです。さて、盆踊りに観客ではなく、踊り手としてはまってしまった人には『盆おどる本 盆踊りをはじめよう！』（盆踊ろう会／編、青幻舎）がおすすめです。盆踊りの魅力がたっぷりと詰まった入門書。思わず踊りたくなっちゃうかも？

お盆にお孫さんと久しぶりに会える方も多いのでは？『孫育ての新常識』（小屋野恵／著、メイツユニバーサルコンテンツ）は、今と昔の育児の違いを教えてください。お孫さんと一緒に楽しむなら『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』（長谷川義史／著、BL出版）をどうぞ。家族のルーツや、ご先祖様を考えるきっかけとなる楽しい絵本です。



図書館員のひとりごと

暑くなってくると、よく床に猫が落ちています。「寝そべっている」…というのが正しい表現だとは思いますが、人が歩くときに邪魔になる場所にあまりに堂々と陣取っているため、一瞬「なにかモノが落ちている」と勘違いしてしまうこともあり、つい「落ちている」と言いたくなってしまいます。

このあいだ、落ちている猫を寄せようと持ち上げると手にかみつくななどの激しい抵抗を受けたため、しかたなく床の上で猫を回して遊んでみたところ、特に暴れもせずそのまま回され続けていました。床の上にはいられればなんでもいいのか…？
(鎌田)

母から引き継いだ我が家の庭づくりが2年目になりました。春には、母が望んでいた小石をせっせと通路に敷き詰め、花の苗を買ってきては植えてと頑張りました。今年のノウハウを生かして、色とりどりの花が咲き乱れるはずが…不安定な気候変化と原因不明な病気、さらには時折吹く強風にすっかりやられ、頭を抱えるこの頃です。結果、しっかり咲いてくれたのは、以前から母が植えていた草花ばかり。今は凌霄花が満開です。植えた場所や鉢植えの位置までちゃんと意味があって、細かに手を加えていたことに今更ながら感心します。素人庭師は、今日も水やりをしながら考えています。(伊藤)